

総合ゼミナール

【概要】昨年度に引き続き「人間理解」を総合ゼミナールの全体テーマとしますが、今年度は基本的に事例研究を通して人間理解を深めることに取り組みたいと思います。事例研究は聞きなれない言葉かと思いますが、事例に見られる問題の解決軽減の方策を見出す事例検討とは異なり、事例研究では一つひとつの事例についてさまざまな角度、具体的には社会保障や社会福祉、臨床死生学や生命倫理、家族関係、臨床心理、人格発達、学習、コミュニケーションに関する知識やさまざまなアプローチ法を適用しつつ、受講者のみなさんの”経験知”をも踏まえて検討を加えていきます。また、そもそも一つひとつの事例に対する”正解”というものはないということを前提にして検討をしていきますので、解決するための方策を編み出すことは一切考えずに進めます。ただ、検討のプロセスを通して自らの価値観やバイアス（考え方やとらえ方などの偏りなど）に気づくこと（自己覚知）を図っていきますので、肩ひじ張らず、また、受け身にならずに取り組んでみようと思われる方には是非とも受講して頂きたいと思ひますし、プライドを捨て、ワンランクアップをしたいと願う専門職の方の受講はさらに大歓迎します。

【対象および本講座を受講することで獲得を目指す知識・技能等】  
いつの間にか身についてしまった自分の価値観や考え方を見つめ直すことに興味がある方。相手の立場に立って考える力を身につけたい方。また「仮説・検証する」力を身につけることで、”相手”に対して柔軟性のある対応の仕方、接し方を工夫できるようになり、自他にとって幸せをもたらすことを願う方。

【講師】吉川 真（広島国際大学 客員教授）

【定員】10名

会場：呉キャンパス

日時		内容
全 1 0 回	5月17日(土)	総合ゼミナールで取り上げる予定の事例（一部）  ・ 老々介護の行方 ・ ドクターショッピングを繰り返すぜんそく患者 ・ 大人に不信感を抱く中学生 ・ 交通事故による脊損 ・ どうする高齢者の運転 ・ 解剖実習で過換気を繰り返す学生 ・ 島暮らしに憧れる高齢者 ・ 落ち着き場を探す礼次郎さん ・ 認知症高齢者の介護 ・ 介護の星になれるのか ・ 統合失調症患者とその家族 ・ アルコール依存の夫を抱えたがん患者 ・ 幼児虐待の疑いのある親 ・ 家族崩壊の危機を心配するがん患者 ・ 早産により未熟児網膜症児を出産した母親 ・ 自らのところに素直になれないがん末期の患者 など
	6月21日(土)	
	7月26日(土)	
	8月9日(土)	
	9月20日(土)	
	10月11日(土)	
	11月15日(土)	
	12月20日(土)	
	1月24日(土)	
	2月21日(土)	
	各日10:00-12:00	

【留意事項】  
・ 開講日は月1回の計10回、原則第3土曜日（※7・8・1月は除く）呉キャンパスでの開講を予定しております。  
・ 8割以上（8回/10回）講座に出席された方には、修了証を発行いたします。